

たののの



TANO HOSPITAL

田野病院

〒781-6410 高知県安芸郡田野町1414-1
TEL 0887-38-7111(代) FAX 0887-38-5568

発行人 白井 隆
(題字 安岡 寧水)

TANO HOSPITAL ホームページ <http://www.usui-kai.com/> E-Mail:info@usui-kai.com



「田園に咲く蓮の花」(岡山県) 撮影者:岡崎 裕行 様

ワクチンとオリンピックピック

理事長 白井 隆

日本も外国へワクチンを譲渡するようになりました。数が足りないと言う話はあまり出てこないのですが、いまは足りているのでしょうか、何だかんだといながらも、今は、ほぼ順調にワクチン接種は進んでいるようです。

我々安芸郡は、各市町村で対応が異なっていました。65才以上のワクチン接種希望者は7月末には終わりそうです。64才以下の人も並行してワクチン接種を開始出来るそうです。職域接種、12才以上の接種の話も出ていますので、秋にはほぼ終わるでしょうが、それでも、オリンピックには間に合いません。

この原稿を皆さんがご覧になる頃には、もう既にオリンピックは始まっているでしょう。日本国民の8割以上が新型コロナワクチン接種を受けて、一日の新規新型コロナ感染者がほぼゼロになって、オリンピックを迎えることが出来たとなれば最高であり、理想ですがどうでしょう。

今はオリンピックと感染拡大を秤にかけて、喧々諤々。理想と現実の中で心が揺れ動いています。新型コロナ感染症が日本だけでは無く、世界中でこれほど広がることは夢にも思わなかったし、また、これほど長引くとは誰も思わなかったのではないのでしょうか。私は、せいぜい今年の春頃には収束するのではないだろうか。昨年夏頃には考えていましたが、なんのなの、嫌みでいえば、世界中が協力し合って感染拡大に務めているみたいなのだ。収束したと思われていた国は、また感染拡大を起し、まるでモグラたたきをしているような印象を受けます。しかし、それもワクチン接種によりおそらく収束傾向になるでしょう。

オリンピックはもう、何が何でも開催すると言う流れのようです。それなら、我々はしっかりと感染対策を行い、ワクチン接種にも協力して、早く安心出来る環境づくりに励みたいと思います。皆さんも頑張りましょう。

当院の新型コロナワクチン接種体制のご案内

当院では2021年4月に地域の医療従事者への新型コロナワクチン接種をはじめ、現在では接種券を配布された方を対象に接種を実施しております。また地域の集団接種や、東部地域の介護施設での接種も並行して行っております。院内での接種は1階の外来スペースではなく、3階に接種会場を設けて医師、看護師、事務員等の10名以上の職員を配置し、円滑に安心して予防接種を受けていただくために法人一丸となって取り組みを行っております。

予診



待機



接種



ワクチン接種に当たっての注意点

一般に、以下の方は、ワクチンを接種するに当たって注意が必要です。当てはまる方は、予診票に記載をしていただいた上で、予診を行います。

- ・過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ・心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある方
- ・過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた方
- ・過去にけいれんを起こしたことがある方
- ・ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある方

ワクチン接種は体調のよいときに受けるのが基本ですので、特に基礎疾患のある方は、病状が悪化していたり、全身が衰弱している場合は避けた方がよいと考えられます。ご心配な方は、かかりつけ医にご相談ください。

予約・会場設営・誘導案内

経営企画部 部長 安岡 将一



経営企画部では、医事課と総務課で連携してワクチン接種の予約から接種会場の設営、接種時の受付・誘導を担っています。

予約に関しては地域のワクチン供給量や接種状況について中芸広域連合と協力をしながら、接種を希望する方の予約を、来院時及び電話にて受付しております。やむを得ずキャンセルや接種日の変更が発生した場合にも、間違いなく管理できるような予約台帳や接種枠カレンダーといったツールを皆で話し合いながら、作成・更新しながら、日々変動する予約数を管理しています。

接種会場ではパーティションや消毒液を増設した際に、「感染対策」と「負担を軽減する効率的な動線」の両立を図れるよう留意した設営を心掛けています。また、接種当日の受付・誘導は円滑に予診、接種してお帰りいただけるよう3階会場と1階受付で連絡を密に取り合っています。

1階受付でお待たせする場合や3階の狭いスペースで混雑する時間もありますが、皆様が譲り合って誘導に協力いただき、お陰様で無事に接種が進んでいます。今後も1人でも多くの方にワクチンを接種していただき、安心して過ごせる地域づくりに少しでも役立てるよう職員一同取組んで参ります。

ワクチン管理

薬剤部 部長 斉藤 忠男



当院薬剤部では、ファイザー社製ワクチンを-75℃の冷凍庫で保管・管理し、当院接種会場や近隣医療機関、地域の集団接種会場への払出しを行っております。

また、ワクチンだけでなく、ワクチン接種に必要なシリンジや注射針なども薬剤部で管理しています。

ワクチン管理において注意していることは、平時の温度管理はもちろんのこと、停電時にワクチンを守るために、冷凍庫を無停電装置に接続しています。払出しの際も複数回チェックを行い、確実なワクチン接種を行えるように努めています。

当院では、地域の皆様が安心してワクチンを接種していただけるよう心掛けております。

1日も早く以前のような制限の無い暮らしを取り戻せるよう、ワクチン接種へのご協力をお願いいたします。

ワクチン接種 副看護部長 岡本 直樹



私はワクチンの準備から、実際のワクチン接種を担当しています。準備は薬剤師と数名の看護師で確認を行い、接種は当然のことながら安全に行なうことを意識しています。

初めての接種の方はもちろん、2回目の接種の方も緊張されていることが多いので、出来るだけリラックスできるような雰囲気作りと、声掛けを行なっています。

今後ワクチン接種を希望される方は、安全に接種が受けられるように、接種当日は肩をすぐ露出できるような服装でお越しください。ご協力のほど宜しくお願いいたします。

予診・待機観察

副看護部長 岡林純賀子



予診では、医師2名、看護師2～5名を常時配置し、特に高齢の方などには、医師との予診が正確に行えるよう、間に入りサポートしています。

また、接種後の副反応への不安や、接種前の対策等の質問も多くいただきますので、丁寧に対応し、少しでも緊張がほぐれるよう、笑顔で優しい声掛けを意識して取り組んでおります。

接種後の待機場所には、飛沫感染防止策として、各座席に段ボール製パーティション、万が一アレルギー反応が生じた場合にも速やかに対応できるよう、薬剤や救急カート等も常備しております。

遠くから来院されている方や、付添いで一緒に来られているご家族の方などもお疲れにならないように、スムーズな運用と会場配置を行っておりますので、安心してご来院ください。

新型コロナワクチン接種の予約受付を、下記のとおり実施しております

来 院 予 約		電 話 予 約	
月～金	9:00～17:00	月～金	14:00～17:00
田野病院 3F 総務課	9:00～14:00	080-2525-8685 (予約専用番号)	
田野病院 1F 受付	14:00～17:00		

お気軽にご来院、お問い合わせください。

■ 病気のはなし ■ 「夏に流行する疾患と予防について」

高知大学医学部消化器内科 医師 (当院火曜日担当医師) 宗景 玄祐

現在、日本国内だけでなく世界中でコロナウイルスによる感染症が大流行中です。多くの方がマスクや手洗いなどでの予防に気を付けていると思われます。また、外食などを控えて、自炊をしたり、テイクアウトを利用する機会も増えていることでしょう。

そこで、これからの夏場に注意が必要となるのが、細菌が原因となる食中毒です。多くは6～8月に発生しています。原因となる細菌の代表的なものは、腸管出血性大腸菌(O157など)やカンピロバクター、サルモネラ属菌などです。食中毒を引き起こす細菌の多くは、室温(約20℃)で活発に増殖し始め、人間や動物の体温ぐらいの温度で増殖のスピードが最も速くなります。例えば、O157の場合は、7～8℃ぐらいから増殖し始め、35～40℃で最も増殖が活発になります。また、細菌の多くは湿気を好むため、気温が高くなり始め、湿度も高くなる梅雨時には、細菌による食中毒が増えてきます。

食中毒は、飲食店などの外食だけでなく、家庭でも発生しています。家庭における食中毒は、症状が軽かったり、家族のうち全員には症状が出なかったりする場合もあるため、食中毒であると認識されないケースも少なくありません。厚生労働省の統計では、家庭での食中毒の発生件数は全体の1割程度となっていますが、実際にはもっと多く発生していると推測されます。家庭にも食中毒の危険が潜んでいます。

食中毒は、その原因となる細菌などが食べ物に付着し、体内へ侵入することによって発生します。食中毒を防ぐためには、細菌を食べ物に「つけない＝洗う、分ける」、食べ物に付着した細菌を「増やさない＝低温で保存する：冷蔵庫や冷凍庫を利用する」、食べ物や調理器具に付着した細菌を「やっつける＝加熱処理」という3つのことが原則となります。

それでも、食中毒の原因物質を排除しようという体の防御反応である嘔吐や下痢が起きた際には、市販の下痢止めなどの薬をむやみに服用せず、早めに医師の診察を受けるようにしましょう。

令和3年度

地域医療研修

当法人にて、地域医療研修に取り組まれた研修医の先生方をご紹介します。

- 1 研修中、印象に残ったことがあれば教えてください。
- 2 医療法人白井会(田野病院)の印象を教えてください。
- 3 指導医、職員の印象を教えてください。
- 4 将来“こんなDrになりたい!!”というDr像があれば教えてください。
- 5 最後に一言お願いします。



にしむら けいご
西村 啓吾 研修医
(高知県立あき総合病院)

研修期間
令和3年4月5日～5月2日

出身地：大阪府
出身大学：高知大学
趣味：マラソン(ランニング)

- 1 病気を治療しても、実際の生活に戻るためには多くの人の力が必要だと思いました。
- 2 地域のニーズに少しでも答えるために様々な取り組みをしている、地域医療の最先端をいく病院
- 3 いつも元気に挨拶してくださり、とてもアットホームな印象でした。
- 4 患者、その家族に寄りそえるDrになりたいです。
- 5 今回の研修で、患者の生活まで含めた医療全体を考えられる医師になりたいと思いました。1か月間、お忙しい中ご指導いただきありがとうございました。



まきの まな
牧野 真奈 研修医
(大阪医科薬科大学病院)

研修期間
令和3年5月5日～6月6日

出身地：兵庫県
出身大学：大阪医科大学
趣味：ドライブ、犬の散歩

- 1 患者さんのお宅に訪問したことです。入院中の急性期の状態でしか患者さんにお会いすることがありませんでしたが、それが本当の患者さんの姿ではないことを知りました。退院後の生活について知ること、入院中にどう介入すればより良い生活を送ってもらうことができるかを考えられるようになりました。
- 2 地域の皆の健康を支えている、なくてはならない病院。
- 3 お忙しいのに私の事をよく気にかけて下さり、本当に温かったです。
- 4 信頼される医師。(患者さんから、医療関係者からも、頼ってもらえる医師)
- 5 医療と介護の両輪で地域を支える田野病院での研修では、普段経験できないようなことをたくさん学ぶことができた貴重な時間でした。いつか、自分のスキルを地域の医療に還元できるよう、日々精進いたします。約1か月間、大変お世話になりありがとうございました。



■ お薬のはなし ■ 「片頭痛予防薬エムガルティについて」

薬剤部 部長 斉藤 忠男

日常的に片頭痛に悩まれている方へ新薬のご案内です。片頭痛発作が起きてしまうと、仕事や学校を休んでしまう、次の発作が不安で人との約束を遠ざけてしまうなど、日常生活に大きな影響が出てしまう事もあり、悩んでいる方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

今回紹介する「エムガルティ皮下注120mgオートインジェクター」は月に1回の皮下注射で、片頭痛の回数が減る、発作治療薬の使用回数が減るといった効果が期待でき、それに伴って日常生活の支障も軽減することが期待できます。

使用にあたっては、片頭痛発作が月に複数回以上発現する方が投与対象になるなど、適切な医師の判断が必要となりますので、希望される方は一度当院脳神経外科、もしくはかかりつけ医にご相談いただければと思います。

令和3年度新入職員オリエンテーション

4月初旬、14名の新入職員を迎え、令和3年度新入職員オリエンテーションが行われました。

研修目的：法人の理念、方針、活動内容を把握し、社会人・組織人に必要な基礎知識を身に付ける

- 研修目標：
- 1、法人の理念、方針、院内活動が理解できる
 - 2、根拠に基づいた専門技術を理解し、実践できる
 - 3、職員としての役割を自覚し、責任ある行動がとれる
 - 4、他部署の概要が理解できる



臼井理事長の挨拶



臼井院長の挨拶



研修初日の説明



部署長との顔合わせ



院内感染
(COVID-19 感染対策)



電子カルテ・システム操作



講義



施設設備・危機管理



医療安全の
グループワーク

今年度4月新入職員が作成した、
研修受講後レポート(感想)の
一部をご紹介します

この2日間の研修を通じて、様々な職種、年齢の同期と親睦を深めることができ、とても刺激になりました。

先輩方や同期との交流の中で、職種を超えた仲の良さを感じることができ、緊張がほぐれたことも多かったです。

講義はどれも有意義で、自分の考え方を直すことや、新しい知識として吸収することができました。この2日間で感じたこと、学んだことを忘れず、これからの臨床経験に生かしたいです。

(リハビリテーション部 作業療法士 和田瑞季)

この2日間で学んだこと、さらにこれから学んでいくことは、地域医療や介護の発展につながり、さらに地域の健康や活力、幸せにつながり、田野病院の理念である「共生」につながると考えられ、努力を怠らず自分ができることは積極的に行っていこうと強く感じた研修でした。

これから医療従事者として地域医療を支えていく立場で、基本方針や職員行動指針にもあるように、患者さんとその家族、来院される皆様により良い医療サービスを提供できるよう、知識と技術向上に努め、笑顔と思いやりを持って接することができるスタッフを目指していきます。

(栄養部 管理栄養士 山本瑠奈)



6月8日(火)、WEB開催された『認知症診療の新时代を考える会』にて、井川直樹診療部長が、当院会議室にてWEB発表を行いました。

井川医師は、「高齢化の進んだ高知県東部地域におけるアルツハイマー型認知症診断の現状と今後の展望」をテーマに、当院の認知症専門外来「もの忘れ外来」の取り組みや、「認知症初期集中支援チーム」をはじめとする、高知県東部地域の認知症サポート体制等について発表。

白井理事長、白井院長、認知症初期集中支援チームの職員も同席し、井川医師や、著名な先生方の発表を視聴しました。

当法人では、全職員が一丸となり、認知症の方、またその家族を支えるための取り組みを、継続的に実施しております。



脳神経外科 井川直樹診療部長が、WEB発表を行いました

6月8日(火)、WEB開催された『認知症診療の新时代を考える会』にて、井川直樹診療部長が、当院会議室にてWEB発表を行いました。

井川医師は、「高齢化の進んだ高知県東部地域におけるアルツハイマー型認知症診断の現状と今後の展望」をテーマに、当院の認知症専門外来「もの忘れ外来」の取り組みや、「認知症初期集中支援チーム」をはじめとする、高知県東部地域の認知症サポート体制等について発表。

認知症ケア専門士を取得しました

通所リハビリテーションの / デイサービスの / ショートステイの
主任 岡林 輝親

認知症ケア専門士とは、認知症ケアに対する優れた学識と技能、倫理観を備えた専門技術士の認定を受けたもので、認知症ケア技術の向上並びに保険・福祉に貢献することを目的としています。

3年以上の認知症ケアの実務経験、および認定試験に合格することで認定されます。

また、5年ごとの更新制で、研修会への参加や発表等で加算される所定の単位を取得しなければなりません。



通所リハビリテーション、デイサービスなどの認知症ケアの現場や、認知症初期集中支援チームでの認知症の方の支援や研修等を通して学びを深めさせて頂いた結果、取得することが出来ました。

今後は認知症ケアの継続的な学習、実践かつスタッフ指導に尽力していき、認知症になっても住みやすい地域作りのため、活動していきたいと考えています。



たの たの 楽楽けんこう隊

たの たの 楽楽けんこう隊では、地域の皆様の健康増進を目的とした「健康教室」を、毎月第4金曜日の11:00より開催しております。

専門職ならではのバラエティー豊かな、お役に立つ講義を行っておりますので、ぜひお足運びください！

当日は、ささやかなプレゼントもご用意しております

【シリーズ：ロコモ①転倒予防教室】

令和3年4月23日(金) 11:00～12:00

通所リハビリテーションの / デイサービスの / ショートステイの

主任 認定理学療法士 岡林 輝親

【シリーズ：病気①心臓病の予防・再発防止について】

令和3年5月28日(金) 11:00～12:00

リハビリテーション部 認定理学療法士 森下 誠也

【シリーズ：認知症①アルツハイマー型認知症】

令和3年6月25日(金) 11:00～12:00

リハビリテーション部 理学療法士(認知症初期集中支援チーム)

小尻 智康

今回は、認知症の概要、アルツハイマー型認知症の症状や日常生活場面での関わり方、認知症予防について発表させていただきました。

現在、日本全国で少子高齢化が進んでいる中で、65歳以上の方の認知症発症率も増加傾向にあります。

私たちが他人事ではなく、身近な病気と認識し、今回の講義を通して、生活の中で「何かおかしいな? 普段と違うな」といった視点や気づきを得るために、少しでも役立てていただければ幸いです。

(リハビリテーション部 小尻)





東京五輪 2021 聖火ランナーを経験して

経営企画部 総務課 保育士 林田 翔平

私は、先日高知県でも開催された東京オリンピック聖火リレーに、聖火ランナーとして参加させていただきました。

遡ること2年前、私は東京オリンピックの聖

火ランナー公募があることを知り、スポンサー4社に先駆けて募集を開始した日本コカ・コーラ社に、スポーツへの想いと、地元高知県で聖火をつなぎたい気持ちを200字に込め応募し、選考の結果、聖火ランナーに選ばれました。

しかし、当初開催予定だった去年は、新型コロナウイルスにより開催延期となり、

今年3月に福島から聖火リレーがスタートした際も、心のどこ

かに「このような状況で参加していいのだろうか？」と迷いがありましたが、聖火リレーのコンセプトが『Hope Lights Our Way/ 希望の道をつなごう』であるように、田野町の皆さんに元気を与えたいという強い想いを持ち、聖火リレーに臨みました。

迎えた当日、スタート地点に立つと、地域の方々、家族、友人、そして職場の子供たちと先生方が応援に駆けつけてくれており、改めて自分が多くの方に支えられていることを実感しました。また、聖火をつないだ200mは終始沢山の方から温かいご声援があり、私の方が逆に元気をいただきました。

これから、このコロナ禍で開催された聖火リレーの経験を周囲に伝えていくことはもちろん、沿道で応援してくれた田野町の皆さんや、日頃お世話になっている家族や友人、そして職場へ少しずつ恩返しをしていきたいと考えています。



おすすめレシピ

栄養部 管理栄養士 塩田 雪月

夏野菜の冷やしうどん (エネルギー411kcal たんぱく質20g 塩分量3.7g)

【材料】

- 冷凍うどん 1玉 ●鶏ひき肉 75g ●ナス 1/2本 ●パプリカ 15g
- オクラ 1本 ●ねぎ 少々 ●オリーブ油 小さじ1/2
- 白だし 大さじ1 ●ごま 少々
- A[みりん風調味料 小さじ1/2 白だし 大さじ1 水 80ml しょうが(すりおろし) 小さじ1/2]

【作り方】

- ① ナス、パプリカを角切りにし、オクラは1cm幅に切る。ねぎはみじん切りにする。
- ② 鍋に湯を沸かし、うどんを茹でる。ザルにあげて冷水でしめて水気を切る。
- ③ フライパンにサラダ油を入れて熱し、鶏ひき肉と①の野菜を入れて炒める。炒まってきたら白だしを入れ混ぜる。
- ④ 皿にうどんを盛り、③をうどんの上に盛る。
- ⑤ Aを混ぜ合わせ④にかける。最後にごまをふりかける。

ナスの皮にはナスニンという色素が含まれており、強い抗酸化作用があります。そのため、活性酸素の働きを抑制し、動脈硬化や高血圧予防など生活習慣病の改善に効果があるとされています。

また、ナスにはカリウムが豊富に含まれていることが特徴です。

カリウムには体の熱を逃がす働きがあるため、夏バテ解消にもなります。



令和3年度永年勤続表彰受賞者一覧

令和3年6月25日実施

【30年勤続者】

大庭 早苗 (回復期リハビリテーション病棟 主任 看護師)
笹岡 愛 (外来・中材手術部 手術室責任者 准看護師)

【20年勤続者】

白石 哲夫 (診療部 医師)

【15年勤続者】

浦川 千尋 (西病棟 准看護師)
有澤 恵 (回復期リハビリテーション病棟 看護師)
笠松とし子 (外来・中材手術部 看護助手)
下村 拓也 (リハビリテーション部 理学療法士)
曾我本祐大 (リハビリテーション部 副主任 作業療法士)
森本 一洋 (リハビリテーション部 副主任 作業療法士)
熊谷 奈未 (リハビリテーション部 作業療法士)
山本 峰子 (経営企画部医事課 事務員)

【10年勤続者】

白井 美和 (西病棟 准看護師)
山中 直子 (回復期リハビリテーション病棟 介護福祉士)
濱口 貴子 (リハビリテーション部 言語聴覚士)
黒岩 友和 (栄養部 調理師)
樋口 敏久 (通所リハビリテーションたの 介護福祉士)
井上 有佳 (通所リハビリテーションたの 介護福祉士)
西岡 優子 (ホームヘルプステーションたの サービス提供責任者・介護福祉士)

【5年勤続者】

河村 亮 (西病棟 看護師)
田村 磨美 (回復期リハビリテーション病棟 看護師)
徳永 光璃 (回復期リハビリテーション病棟 准看護師)
寺尾 理沙 (回復期リハビリテーション病棟 介護福祉士)
大野 藍 (外来・中材手術部 看護師)
岡村真紀子 (外来・中材手術部 看護師)
小野川 季 (リハビリテーション部 理学療法士)
久米 哲司 (リハビリテーション部 理学療法士)
畠中亜莉沙 (リハビリテーション部 理学療法士)
松田 彩 (リハビリテーション部 理学療法士)
松岡 賢也 (リハビリテーション部 作業療法士)
中島 大真 (リハビリテーション部 作業療法士)
柴野 美樹 (臨床検査部 臨床検査技師)
牛窓 恵利 (栄養部 栄養士)
枝澤 洋平 (居宅介護支援事業所たの 主任心得 介護支援専門員)
松本 陵 (デイサービスたの・ショートステイたの 介護福祉士)
橋本 亜希 (デイサービスたの・ショートステイたの 介護福祉士)
近藤美和子 (経営企画部総務課 事務員)



新人紹介
①所属・職種 ②出身地 ③趣味・特技 ④どのようなことで頑張っているか？

編集後記
新型コロナウイルス感染症は、世の中に暗い影を落とした一方で、私達にとって当たり前であった日常に、感謝するきっかけを与えてくれたように思います。今、当たり前にあるもの、できていることの意味や価値を考えながら、アフターコロナに向け、過ごしていきたいものです。
経営企画部総務課 主任 岩崎 宏紀